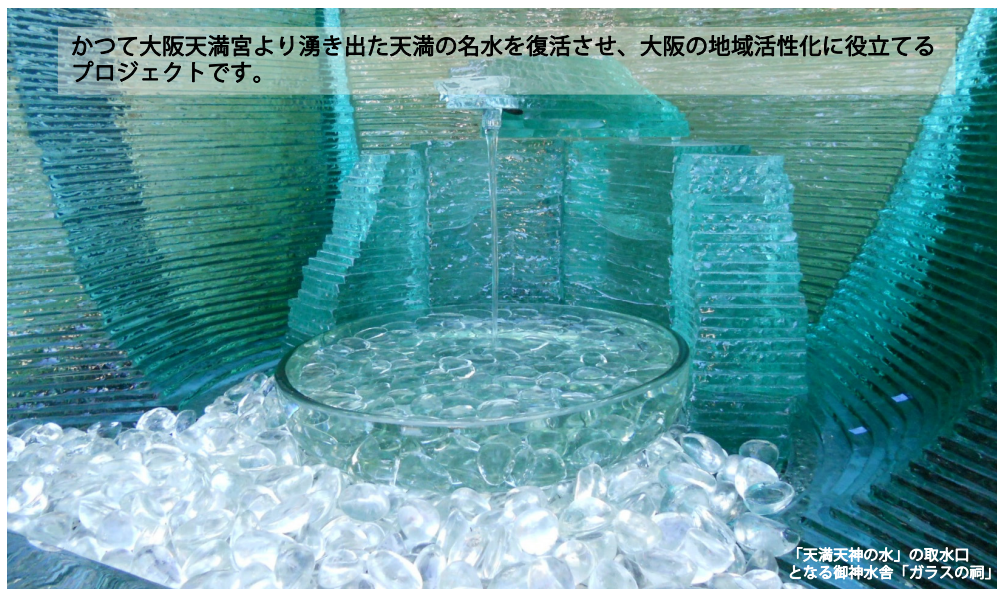


関西大学なにわ大阪研究センター ～天満の名水復活～

かつて大阪天満宮より湧き出た天満の名水を復活させ、大阪の地域活性化に役立てるプロジェクトです。



「天満天神の水」の取水口となる御神水舎「ガラスの祠」

活動の概要

目的	大阪の歴史の再評価による地域活性化
連携メンバー	大阪天満宮 / 天神橋筋商店連合会 / 特定非営利活動法人 天神天満町街トラスト ガラス作家 岡本寛氏 / エコール 辻 大阪 (辻調グループ) / 株式会社 アクリト 関西大学社会的信頼システム創生プロジェクトユニット (Research center for Social Trust and Empowerment Process : 略称 STEP) 関西大学なにわ大阪研究センター 関西大学社会学部教授 与謝野有紀 / 同学部教授 林直保子 / 関西大学環境都市工学部教授 楠見晴重 / 同学部教授 山本秀樹 / 関西大学化学生命工学部教授 老川典夫
活動地域	大阪天満宮 (大阪府大阪市北区) 天神橋筋商店街 (大阪府大阪市北区)
活動期間	2011年～(継続中)
費用	文部科学省戦略的研究基盤形成支援経費等

連携の経緯

かつて大阪天満宮には「五知の水」と呼ばれる井戸があり、「大坂四清水」の一つに数えられる名水が湧き出していた。また、文化・文政期の天満地区には130軒以上の酒蔵が立ち並び、酒造りが盛んだったとも言われる。STEPは天神橋筋商店連合会の土居会長(当時)との当時の天満に関するやりとりの中で地下水の復活を決意。大阪天満宮の寺井種伯司の協力も得て、天満宮をフィールドとする天満の名水復活事業をスタートさせた。

解決すべき課題

- (1) 枯渇し、忘れられていた天満の名水の復活
- (2) 名水の機能を明らかにし、その利用を展開する



揚水試験

「天満天神の水」でひいた和食だしの試飲とアンケート調査をエコール 辻 大阪の協力で実施@関西国際空港

大学の役割

豊富な地下水に支えられ、かつては酒造りが盛んに行われた天満地区であったが、高度経済成長期に多量の地下水を汲み上げたことにより、大阪天満宮の井戸も数十年前に枯渇し、今では天満の名水を知る人は少なくなりました。STEPは、地盤工学を専門とする楠見(当時学長)より、現在の大阪市内の地下水水位は地下水採取の規制条例によって著しく回復していること、また、大阪天満宮では良質な地下水の採水可能性が高いとの示唆を受けた。

そこで、STEPにおける各種の活動を通じて構築した社会的信頼ネットワークを基盤に、天神橋筋商店連合会と連携し、本事業を大阪天満宮に提案。天満の名水復活について寺井宮司の賛同を得て、正式に大阪天満宮より調査依頼を受けることとなった。そして、2011年8月、大阪天満宮境内での水質調査を行い、安心安全に配慮した浄化システムを通し、良好な飲料水として利用できることの結果が出た。同年10月には本掘を開始した。

STEPを引き継いだ関西大学なにわ大阪研究センターおよびSTEPプロジェクトユニットでは、エコール 辻 大阪の協力を仰ぎながら、この水にふさわしい出汁のとりかたを地域に提示できるよう活動し、利用が促進されるような社会実験を展開している。また、化学生命工学部の老川の分析で、この水を利用した場合に、うまみ成分がより良く抽出される可能性が明らかになった。さらに、環境都市工学部の山本は、(株)アクリトと連携し、水が安全で高機能であるように安定するためのシステムの開発を続けている。名水の復活が「水都・大阪」の歴史の再評価ひいては大阪の地域活性化につながるよう、産学連携を推進していく。

成果

- (1) 天満の名水復活
- (2) 商店街を中心とした新事業の創生

今後の展望

- (1) 天満の水を活用した大阪や天神橋筋商店街の地域活性化
- (2) 水を利用した大阪料理文化の振興

研究者の紹介



環境都市工学部 教授
楠見 晴重
(くすみ はるしげ)

専門は地盤環境工学。自然災害の防止技術や、地下水利用に関わる問題に対し、景観・環境に配慮した最先端の研究を行う。関西大学第40、41代学長。



社会学部 教授
与謝野 有紀
(よさの ありのり)

地域活性化に対する社会的信頼の機能を実践的に明らかにする研究を展開し、社会的課題の解決に全精力をもって取り組む。2016年4月より関西大学なにわ大阪研究センター長。



環境都市工学部 教授
山本 秀樹
(やまもと ひでき)

専門は環境再生工学。化学工学の要素技術を有機的に融合させることにより、環境再生型の新しい化学生産システムを構築することが目標。



社会学部 教授
林 直保子
(はやし なおこ)

北海道出身。専門は社会心理学。近年は、社会の中で信頼が醸成される条件とはなにか、また、人の信頼感を支えている心理メカニズムとはどのようなものか、という研究テーマに取り組んでいる。



化学生命工学部 教授/
関西大学戦略研究総合センター長
老川 典夫
(おいかわ ただお)

専門は酵素工学。食品中のD型アミノ酸の定量的解析を行い、その生成機構を細胞及びタンパク質レベルで解明している。



天満天神の水